1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2271101335		
法人名	有限会社　在宅支援センターふれあい		
事業所名	グループホームふれあい香貫	ユニット名	1F・2F
所在地	静岡県沼津市下香貫揚原530－16		
自己評価作成日	平成22年1月8日	評価結果市町村受理日	平成22年4月22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyo-shizuoka.jp/kaigosip/Top.do

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	セリオコーポレーション有限会社　福祉第三者評価・調査事業部
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町４－１
訪問調査日	平成22年1月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

地域密着グループホームを目指し、自治会、子供会、学校など交流を活発に行っております。利用者様ご家族様のご要望にお答えし一緒に楽しめる行事を企画したり、一泊温泉旅行も計画実行いたしました。
利用者様には共同生活にとらわれることなく自由に外出していただいたり、近くの方は帰宅されたりできる限りご本人の気持ちを大切に考え支援をいたしております。
１階・２階利用者様が自由に行き来できるように配慮をして利用者様同士の交流が出来るようにも心がけております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

住宅が建てこんだ中に建てられたホームは、地域の祭りや行事に積極的に参加したり、自治会や子供会・ボランティアの受け入れ等を通じて利用者が地域の中で暮らし続けられるような地域密着型を目指している。また、家族等との触れあいも家族会を通じて行なわれ、家族同伴での温泉一泊旅行を計画実施するなど、家族との絆を大切にした取り組みも見られる。今まで職員の入れ替えが多く運営に支障をきたす面が見られたようだが、現在は落ち着き社員教育に力が注がれている。職員の声を聞くための「気づきメモ」を発案してアイデア・意見等を運営に反映させる取り組みや利用者が1階・2階のフロアーに自由に行き来し交流を図る姿も見受けられる。

Ｖ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）		1. ほぼ全ての利用者の
		○	2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）		1. 毎日ある
		○	2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている （参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている （参考項目：9,10,19）		1. ほぼ全ての家族と
		○	2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）		1. ほぼ毎日のように
		○	2. 数日に1回程度
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）		1. 大いに増えている
		○	2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている （参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての家族等が
		○	2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどできていない

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。〕

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念「みんな仲良く集う毎日」に基づき安心、安全で笑顔の絶えない生活環境を目指しています。	ホーム開設時職員全員での話し合いにより理念を決めている。理念の実行に当たっては、利用者を中心にして、みんな仲良く集いその生活が毎日続けられるよう、職員共通の問題として捉えている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホーム主催の行事は、自治会の回覧にて参加を呼びかけ、町内のお祭り、敬老会には利用者様と一緒に積極的に参加しております。	日々の散歩や買い物での地域の人達との会話や挨拶のほか、お祭り、敬老会等に参加して地域との交流を図っている。また、ホームで行なう催し物には町内会の回覧板等でお知らせし、近隣住民の多数の参加を得ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日々の散歩や買い物の中で顔見知りができ、挨拶や会話の中でホームを理解していただき、気軽に立ち寄っていただけるようなホームを目指しております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホーム内での出来事の報告を行なうとともに、ご家族様からの要望や質問等に基づき活発な意見交換を行い、ご家族、利用者様の意向に添えるよう努めております。	運営推進会議は家族会を兼ねて2ヶ月に1度の割りで開催されている。出席者は、家族・職員が主で外部の人々の参加が十分とは言えない。	運営推進会議は、事業所が地域密着型サービスとしての役割を果たすために、地域の人々が運営を見守ったり、協力者として助言する機会の場であることを踏まえて、行政職員・地域住民等の幅広い参加が望まれる。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	沼津市役所長寿介護課、地域包括支援センターの方々には、あたたかく支えられております。2ヶ月に1度のグループホーム連絡協議会に参加させて頂き、他の事業所との方々と意見交換又は行き来ができるようになりました。	市の担当課とは相談・報告などで連絡を取り合っているほか、地域包括支援センターが中心となって組織したグループホーム連絡協議会に参加して行政との連携に努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティングの中での勉強会で身体拘束について話し合う機会を持ち、身体拘束ゼロを実施しております。	運営規程で身体拘束は利用者等の生命又は身体の保護をするためやむを得ない場合以外は禁止する旨を掲げ、重要事項説明の中で利用者・家族等に伝えられている。職員は、身体拘束ゼロに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	ミーティングでの中で高齢者虐待防止関連法について説明するとともに、職員の不注意な言動が利用者様の気持ちを傷つけ虐待となることがあることを認識させ、人権尊重の方針を徹底させております。		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について職員の何名かは研修で習得しています。利用者やご家族様から相談を頂いたとき、意向に添えるよう協力させて頂きます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時書面を読み合わせ、説明させて頂いております。分からない事がある時は随時問い合わせにお答えし、理解していただけるよう努めております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進協議会において、利用者やご家族の意見、要望を伺うように努めるとともに、法人本部の管理する「苦情申し出箱」を設置し、ご意見等の反映を図っています。	利用者との日々の会話の中や家族会・訪問時等の場において意見等を傾聴している。出された意見等については真摯に受け止め、出来る限りの範囲で運営に反映させたいとしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常の何気ない会話から良い提案が出たり、気軽に意見交換のできるフロアーミーティングを月１回開催し、職員の意見、提案は管理者ミーティングにつなげています。	職場内の壁に理想のグループホームにするためのチャート表を取り付け、その表に職員が気づいた点をメモ書きにして張り付ける方法でアイデア・意見等を収集し、会議等の場で討論し運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員からリーダー、リーダーから管理者、管理者から代表と、個人的な要望や不満など聞き取りを行い個々に対応しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修として毎月１回社内研修委員会より段階に応じた研修があり、社外研修についてもそれぞれのレベルにあった研修への参加をさせて頂き、事業所内ではミーティングの際、ミニ研修会を行なっております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2ケ月に1度のグループホーム連絡協議会に参加し、意見交換、相談などの機会をいただき、近隣事業所への見学、運営推進会議への参加も積極的に行い、それを参考にサービス向上への取り組みを行なっております。		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様のお話を伺い、安心して納得していただけるまでご相談に応じております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	心配な事、疑問点など安心して気軽に話せる雰囲気作りを心掛けております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居を急がれている場合、空室がない時近隣施設又はその他サービスを紹介するよう心掛けております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除、食事の仕度等、暮らしの中で、一緒にできることには参加して頂き、充実感を味わっていただいている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様状況の変化を随時報告し、利用者様と一緒に行事などの参加にご協力をいただく。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	会話の中からご本人様の行きたい場所、会いたい方のご希望を伺い、出来る限りご希望に添えるよう支援しております。	日々の会話や誕生日などに利用者の希望を伺い、出来る限り希望に沿うように努めている。また、家族会の要望で近隣の温泉場へ一泊旅行を実施し利用者の気分転換を図る取り組みもされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	1階利用者は男性が多く、時々トラブルも発生しますが、一人ひとりが役割を持ち、持てる力を発揮していただき、関わり支え合えるよう支援しております。		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されたご家族様には、年始の挨拶や行事等、その都度お便りを出し気軽に立ち寄れる雰囲気作りに心掛けております。		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	（9）	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る限りご本人様のご希望を聞き入れ部屋づくりや環境づくりを行い、困難な場合はご家族様に生活暦など聞き取り、ご本人の意向に添った暮らしの支援に努めております。	お互いの信頼関係を築くことから始め、日々の会話や言動、利用者個々の希望・意向等について、気づきメモや申し送りノート等に記録し、職員共通の認識の下に支援を行える態勢に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	会話の中でお聞きしたことをセンター方式(暮らしの情報)シートを活用し、職員間情報の共有を行なっております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員同士協力し合い、日々日常の観察と異変の察知を心掛け、情報収集を行なっております。		
26	（10）	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日の気付きを基に、必要に応じてミーティング、ご家族様、医療機関等で話し合い、介護計画に反映しております。	毎月１回開催のミーティングにおいて、日々の記録等を下に利用者3～4名ずつのモニタリングを行なった後、家族、医療機関等と話し合い介護計画を作成している。利用者一人につき6ヶ月に1度介護計画を見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の申し送りで話し合い、情報の共有を行い、欠席者にはホワイトボードや申し送りノートで掲示し、見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	要望に応じて臨機応変に対応しております。(介護タクシー・レンタル事業等)		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	中学生の職業体験の受け入れを行い、行事の際には高校生の和太鼓や大正琴等、ボランティア協力をお願いし、地域住民のご協力もありました。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回往診して頂き、利用者様に変化があったときには相談、受診し素早い連携を図っております。また専門外医療も関係医療機関を紹介していただいております。	協力医により月2回の往診を受け、利用者のかかりつけ医への通院も家族の都合次第で同伴・家族への報告も行い、適切な医療を受けられるように支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に2．3度巡回看護師の方に来ていただき、健康チェックと相談を行なっております。又、夜間緊急時の対応も行なって下さっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には、早期に退院が出来るように、ソーシャルワーカーの方と連携をとり、相談、情報交換に努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様には終末期に関する意向を確認し、かかりつけの先生や看護師の指示、指導に基づき、ご家族様も含め、すべての情報を共有し、安心して生活できるように取り組んでいます。	家族・本人のターミナルに関する意向については確認書を頂き、医師の指示、指導に基づき情報を共有し、安心して生活ができるように支援しているが、マニュアルを作るまでには至っていない。	重度化した場合に備え、対応の指針を文書化し、マニュアルの作成等が望まれる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内研修の中で、定期的に救命救急、心肺蘇生などの研修を行ったり、折りに触れミーティングの中で話し合っております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ホーム内では利用者様も含め定期的に避難訓練を実施し、町内の避難訓練にも参加し、ご協力をお願いしています。	災害対策は、月2回、委員会を開催し、防災意識の高揚を図っている。避難訓練は消防署の指導のもと定期的に、実施している。町内会の訓練にも参加し、災害時の協力もお願いしている。水･食料の備蓄をしている。	

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に尊厳を忘れず、その方に合わせた言葉かけと対応を意識して関わるようにしています。	言葉掛けの重要さをミーティングでよく話し、親しくなっても必ず苗字で呼ぶこと、人生の先輩として敬う態度で接することを指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の希望要望をうかがった時には、なるべく早く対応をして、充実感や満足感を味わっていただけるように支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員が落ち着いて利用者様と関われるよう配慮し、一人ひとりのペースを尊重し、希望に添った援助を行なっております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出張美容室に定期的に来ていただき、ご本人の希望でカットを行っていただいたり、なじみの理髪店に月に1回通う方、又ご家族の希望により美容師さんをお連れする方などいらっしゃいます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様に可能な限り手伝って頂き、準備、後片付けなど一緒に行い、又メニューのご希望があった場合は希望に添うようにしております。	利用者が出来ること、皮むき･茶碗洗い･おいなりさん作りなど、なるべく手伝ってもらっている。自家野菜を収穫して、献立に加えたり、利用者の希望に沿った食事を楽しめるよう配慮している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日食事量や水分量のチェックを行うとともに、一人ひとりその方に適した食事内容(きざみ食･ミキサー食･減塩･減量)を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	週に1回の歯科往診に加え、毎食後の口腔ケアへの誘導、ADLに応じた介助を行っております。		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンに添って声掛けしながら誘導し、安心して排泄ができるように見守り又は介助しています。	記録から個々の排泄パターンを掴み、利用者個々にあったペースで声掛け誘導し、トイレでの排泄や自立に向けた支援に努めている。また、紙おむつの使用も減らすように配意している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便を促す飲食物や、身体を動かす働きかけを行なったり、入浴時のマッサージ等、常に心掛けて行なっておりますが、排便チェック表により排便の確認が取れない時は看護師、嘱託医の指示のもと便秘薬など使用しております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本的な曜日は決まっておりますが、ご本人の希望により日中、夜間を問わず自由に入って頂いております。	週2回以上は入浴できるようにしている。日中の入浴が多いが、希望により夜間も入浴できる。浴槽には、季節感・色・香りなど入浴を誘導する工夫をして、入浴を楽しめるよう努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の休息はご本人の意向に添って、ベットで休まれたり、ソファーでくつろがれたりしております。夜間は気持ちよく休むことが出来るよう、あんかを使用したり、居室内の温度に気を配っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局からいただく指示書を毎日目のふれる個人ファイルに綴じ、内容と副作用の把握を行い、臨時薬や新規の薬については、生活記録に記入をして様子観察を行なっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今まで過ごした生活習慣や生活暦など参考にしながら、個別に対応しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お天気の良い暖かい日は、戸外に出るよう心がけ、お弁当持参で近所の神社や公園に出かけたり、個別に要望をうかがい誕生月には利用者様の行きたい所にご一緒したり、ご家族様による外出もお願いしております。	近くにスーパーや神社があり、よく外出する利用者が多い。神社での銀杏拾い、外食、映画を楽しんだり、墓参りに行く利用者もいる。 個々の要望に応じて、利用者の誕生月に行きたいところへ同行もしている。	

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の要望により、ご家族様と相談しながらお小遣いとして小額のお金を持っていただき買い物など楽しまれています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙は気持ちを尊重し、電話の取次ぎや手紙の投函などお手伝いさせていただいております。年賀状など季節の挨拶葉書など一緒に手作りしております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を取り入れる為、毎月ディスプレイを変えたり写真の掲示も楽しめるような工夫をしております。	庭に面して窓が大きく、明るく、暖かい室内には、季節の花が飾られ、壁面には写真や利用者の作品も飾られている。居間の大きいガラス戸の外には木製のデッキが設けられ、バーベキューを楽しむことも出来るなど、居心地よく暮らせる工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席の配置に気を配ったり、テレビを見ながらソファーでくつろげるように工夫をしております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はご本人様の昔使っていたものなど意向に合わせ、またご家族様と相談しながら配置を考えております。	居室には馴染みの家具や品々が持ち込まれ、写真や作品が並べられたり、各自の好みで室内が飾られ、供え付けの収納庫には日用品が整然と納まり、居心地よく過ごせる部屋作りがされていた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は出来る限り障害物を置かないよう配慮し、手摺りも必要なところは設置して、立ち上がりの補助になるよう考えております。		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2271101335		
法人名	有限会社　在宅支援センターふれあい		
事業所名	グループホーム　ふれあい香貫	ユニット名	2F
所在地	静岡県沼津市下香貫揚原530－16		
自己評価作成日	平成22年1月8日	評価結果市町村受理日	平成22年4月22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyo-shizuoka.jp/kaigosip/Top.do

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	セリオコーポレーション有限会社　福祉第三者評価・調査事業部
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町4－1
訪問調査日	平成22年1月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着グループホームを目指し、自治会、子供会、学校など交流を活発に行っております。
利用者様ご家族様のご要望にお答えし一緒に楽しめる行事を企画したり、一泊温泉旅行も計画実行いたしました。
利用者様には共同生活にとらわれることなく自由に外出していただいたり、近くの方は帰宅されたりできる限りご本人の気持ちを大切に考え支援をいたしております。
1階・2階利用者様が自由に行き来できるように配慮をして利用者様同士の交流が出来るようにも心がけております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V．サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)		1. ほぼ全ての利用者の
		○	2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)		1. ほぼ全ての家族と
		○	2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
		○	2. 数日に1回程度
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている
		○	2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての家族等が
		○	2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどできていない

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、（Altキー）＋（Enterキー）です。〕

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念「みんな仲良く集う毎日」に基づき安心、安全で笑顔の絶えない生活環境を目指しています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホーム主催の行事は、自治会の回覧にて参加を呼びかけ、町内のお祭り、敬老会には利用者様と一緒に積極的に参加しております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日々の散歩や買い物の中で顔見知りができ、挨拶や会話の中でホームを理解していただき、気軽に立ち寄っていただけるようなホームを目指しております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホーム内での出来事の報告を行なうとともに、ご家族様からの要望や質問等に基づき活発な意見交換を行い、ご家族、利用者様の意向に添えるよう努めております。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	沼津市役所長寿介護課、地域包括支援センターの方々には、あたたかく支えられております。2ヶ月に1度のグループホーム連絡協議会に参加させて頂き、他の事業所との方々と意見交換又は行き来ができるようになりました		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティングの中での勉強会で身体拘束について話し合う機会を持ち、身体拘束ゼロを目標にしておりますが、1名車椅子からのすべり落ちがある方は、ご家族様のご要望によりシートベルトを装着しております		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	ミーティングでの中で高齢者虐待防止関連法についてお話し、見過ごす事の無いよう利用者様の変化について、どんな些細なことでも申し送り、記載し、情報の共有を図っております。		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について職員の何名かは研修で習得しています。利用者やご家族様から相談を頂いたとき、意向に添えるよう協力させて頂きます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時書面を読み合わせ、説明させて頂いております。分からない事がある時は随時問い合わせにお答えし、理解していただけるよう努めております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進協議会において、利用者やご家族の意見、要望を伺うように努めるとともに、法人本部の管理する「苦情申し出箱」を設置し、ご意見等の反映を図っています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常の何気ない会話から良い提案が出たり、気軽に意見交換のできるフロアーミーティングを月１回開催し、職員の意見、提案は管理者ミーティングにつなげています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員からリーダー、リーダーから管理者、管理者から代表と、個人的な要望や不満など聞き取りを行い個々に対応しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修として毎月1回社内研修委員会より段階に応じた研修があり、社外研修についてもそれぞれのレベルにあった研修への参加をさせて頂き、事業所内ではミーティングの際、ミニ研修会を行なっております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2ヶ月に1度のグループホーム連絡協議会に参加し、意見交換、相談などの機会をいただき、近隣事業所への見学、運営推進会議への参加も積極的に行い、それを参考にサービス向上への取り組みを行なっております。		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様のお話を伺い、安心して納得していただけるまでご相談に応じております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	心配な事、疑問点など安心して気軽に話せる雰囲気作りを心掛けております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居を急がれている場合、空室がない時近隣施設又はその他サービスを紹介するよう心掛けております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除、食事の仕度等、暮らしの中で、一緒にできることには参加して頂き、充実感を味わっていただいている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様状況の変化を随時報告し、利用者様と一緒に行事などの参加にご協力をいただく。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	会話の中からご本人様の行きたい場所、会いたい方のご希望を伺い、出来る限りご希望に添えるよう支援しております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりが役割を持ち、持てる力を発揮していただき、関わり支え合えるよう支援しております。		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されたご家族様には、年始の挨拶や行事等、その都度お便りを出し気軽に立ち寄れる雰囲気作りに心掛けております。		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	（9）	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る限りご本人様のご希望を聞き入れ部屋づくりや環境づくりを行い、困難な場合はご家族様に生活暦など聞き取り、ご本人の意向に添った暮らしの支援に努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	会話の中でお聞きしたことをセンター方式(暮らしの情報)シートを活用し、職員間情報の共有を行なっております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員同士協力し合い、日々日常の観察と異変の察知を心掛け、情報収集を行なっております。		
26	（10）	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日の気付きを基に、必要に応じてミーティング、ご家族様、医療機関等で話し合い、介護計画に反映しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の申し送りで話し合い、情報の共有を行い、欠席者にはホワイトボードや申し送りノートで掲示し、見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	要望に応じて臨機応変に対応しております。(介護タクシー・レンタル事業等)		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	中学生の職業体験の受け入れを行い、行事の際には高校生の和太鼓や大正琴等、ボランティア協力をお願いし、地域住民のご協力もありました。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回往診して頂き、利用者様に変化があったときには相談、受診し素早い連携を図っております。また専門外医療も関係医療機関を紹介していただいております。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に2．3度巡回看護師の方に来ていただき、健康チェックと相談を行なっております。又、夜間緊急時の対応も行なって下さっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には、早期に退院が出来るように、ソーシャルワーカーの方と連携をとり、相談、情報交換に努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様には終末期に関する意向を確認し、かかりつけの先生や看護師の指示、指導に基づき、ご家族様も含め、すべての情報を共有し、安心して生活できるように取り組んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内研修の中で、定期的に救命救急、心肺蘇生などの研修を行ったり、折りに触れミーティングの中で話し合っております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ホーム内では利用者様も含め定期的に避難訓練を実施し、町内の避難訓練にも参加し、ご協力をお願いしています。		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に尊厳を忘れず、人生の先輩としてその方に合わせた言葉かけと対応を意識して関わるようにしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の希望要望をうかがった時には、なるべく早く対応をして、充実感や満足感を味わっていただけるように支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員が落ち着いて利用者様と関われるよう配慮し、一人ひとりのペースを尊重し、希望に添った援助を行なっております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出張美容室に定期的に来ていただき、ご本人の希望でカットを行っていただいたり、なじみの理髪店に月に1回通う方、又ご家族の希望により美容師さんをお連れする方などいらっしゃいます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様に可能な限り手伝って頂き、準備、後片付けなど一緒に行い、又メニューのご希望があった場合は希望に添うようにしております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日食事量や水分量のチェックを行うとともに、一人ひとりその方に適した食事内容(きざみ食・ミキサー食・減塩・減量)を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	週に1回の歯科往診に加え、毎食後の口腔ケアへの誘導、ADLに応じた介助を行っております。		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンに添って声掛けしながら誘導し、安心して排泄ができるように見守り又は介助しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便を促す飲食物や、身体を動かす働きかけを行なったり、入浴時のマッサージ等、常に心掛けて行なっておりますが、排便チェック表により排便の確認が取れない時は看護師、嘱託医の指示のもと便秘薬など使用しております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本的な曜日は決まっておりますが、ご本人の希望により日中、夜間を問わず自由に入って頂き会話を楽しむ時間として大切にしております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の休息はご本人の意向に添って、ベットで休まれたり、ソファーでくつろがれたりしております。夜間は気持ちよく休むことが出来るよう、あんかを使用したり、居室内の温度に気を配っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局からいただく指示書を毎日目のふれる個人ファイルに綴じ、内容と副作用の把握を行い、臨時薬や新規の薬については、生活記録に記入をして様子観察を行なっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今まで過ごした生活習慣や生活暦など参考にしながら、個別に対応しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お天気の良い暖かい日は、散歩がてら買い物に出かけ季節の食材や果物を知ったり。お弁当持参で近所の神社や公園に出かけたり、個別に要望をうかがい誕生月には利用者様の行きたい所にご一緒したり、ご家族様による外出もお願いしております。		

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価表に記入されています。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の要望により、ご家族様と相談しながらお小遣いとして小額のお金を持っていただき買い物など楽しまれています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙は気持ちを尊重し、電話の取次ぎや手紙の投函などお手伝いさせていただいております。年賀状など季節の挨拶葉書など一緒に手作りしております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を取り入れる為、毎月ディスプレイを変えたり写真の掲示も楽しめるような工夫をしております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席の配置に気を配ったり、テレビを見ながらソファーでくつろげるように工夫をしております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はご本人様の昔使っていたものなど意向に合わせ、またご家族様と相談しながら配置を考えております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は出来る限り障害物を置かないよう配慮し、手摺りも必要なところは設置して、立ち上がりの補助になるよう考えております。		